



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

「個別最適な遊び」と「協同的な遊び」の実現に向けて

幼稚園経営支援員 飯島光正

「個別最適な学び」は児童・生徒一人ひとりの特性、学習進度、興味関心に合わせて学習を最適化する学び方です。主に小中学校における学び方として定着してきました。

具体的には、理解が遅い児童・生徒には基礎に戻る教材を提出したり、得意な子には発展的な課題を与えたりするなど、学習方法や教材、学習時間を柔軟に調整して行われます。教員はこの学びの達成のために、「指導の個別化」と「学習の個性化」を図らなければなりません。

児童・生徒の興味・関心に応じ、自ら課題を設定したり、情報収集・整理・分析を行ったりするなど、主体的な学習を進めることが大切です。

一方、「協働的な学び」は他者と協力して深く学ぶことを目指しています。「個別最適な学び」と「協働的な学び」は相対立するものではなく、互いを補完する関係にあります。例えば、個別で学んだことをもとに他の生徒と意見交換をして、探求心を養い、学びを深めるといった一体的な授業展開が重要とされます。

幼稚園は、「学びは遊び、遊びは学び」です。「個別最適な学び」は「個別最適な遊び」、「協働的な学び」は「協同的な遊び」として置き換えられます。先日、「区民ひろば椎名町」をお借りして行われた音楽会では、年長組では、いろいろな楽器遊びを繰り返し、自分が選んだ楽器で演奏しました。年少組も選んだ楽器で一生懸命に演奏を楽しむことができました。保護者の皆様、地域の皆様、お越しいただきありがとうございました。

さて、来月は展覧会です。年長組は、あらかわ遊園で遊んだ経験、また、年長・年少組とも光が丘公園で見つけた木の実、椎名町小でのさつまいもほり等、たくさんの思い出の詰まった作品作りに取り組んでいます。どうぞ、お楽しみになさってください。

幼児教育は教育の原点です。質の高い教育を行うためにも「個別最適な遊び」と「協同的な遊び」を実現させ、生涯にわたる人格形成の基礎を培い、小学校教育への架け橋としての役割を果たさなければならぬと考えます。

12月の指導のねらい

- 4歳児
 - ・様々な素材や用具を使って表現する楽しさを味わう。
 - ・友達にイメージや思いを伝えたり、友達の話を聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・季節の変化に気づき、手洗い・うがい・衣服の調節を自分で行おうとする。
- 5歳児
 - ・グループの友達とイメージや考えを伝えあい、考えたり工夫したり分担しながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・季節の変化や年末年始の行事に関心をもち、自分たちの生活に取り入れる。